ものづくり補助金 ヒアリングシート HMO1(1)(建設業)

社名	〇〇建設(株)	代表者	浜松虎次郎
住所	静岡県浜松市〇区***	電話	053-***-**

ものづくり補助金 ヒアリングシート	個別シート
(1) どのような新しい事業(革新的な事業)を考えていますか	·補助事業名【KM03】
造成工事の整地作業でICTブルドーザーを導入して、無人化したい	
│ │ (2)他社に比べて自社の商品の特徴や技術的な強みはありますか	- ・過去の売上推移【KM01】
①商品の特徴 ・・・ 工業団地や住宅団地の造成工事を多く行っている	・過去の利益推移【KM01】
②技術や技能 ・・・ 大型建設設備を多く保有しているため、免許等が必要	·商品の特徴は【KM01】
 ③売上や利益は ・・・ 2020 年度はコロナの影響で受注が減少したが、利益は確保	
(3)顧客はだれでしょうか	・市場は【KM11】
①顧客・・・国、地方自治体、大手デベロッパー	
②地域は・・・ 地場、県内、全国	
(4)革新的な製品やサービス(補助事業)とは何でしょうか?	·補助事業内容【KM03】
①新規補助事業のタイトルを 30 文字で書くと(キャッチコピー)・・・	·現状の課題【KM02】
整地作業でブルドーザーの無人運転化による省人化の実証実験	・課題の対策案【KM03】
②課題は何でしょうか・・・	·効果予測【KM04】
人手不足対応、特に大型建設機械のオペレーター不足	
③対策案はありますか・・・	
無人運転が可能な建設機械の導入	
(5)補助事業のマーケットは	・マーケット【KM11】
①補助事業のマーケット(市場)は・・・	·将来展望【KM12】
造成工事の大型化に伴い大規模工事が増えているが、大型建設機械を操作で	
きる人材が不足してきている。	
②設備投資等を回収できますか・・・	
設備投資は2年での回収を計画。省人化の実証実験も兼ねて検証していく。	
(6)補助事業の実施体制やスケジュールは	·導入設備【KM05】
①導入設備、又は新規補助事業は・・・	·開発体制【KM06】
ICTブルドーザーの導入	·導入スケジュール【KM06】
②補助事業の実施体制・・・	
当社メンバーに㈱小松製作所を加えたプロジェクトチームで対応していく。	
③補助事業のスケジュールは・・・	
導入後の半年で、効果を検証していく。	
(7)補助事業の売上、利益は(補助事業のみ)	・補助事業の売上【KM12】
①補助事業の売上計画は・・・ 1 年後:0.5 億 2 年後:0.75 億 3 年後:1 億	·会社全体売上【KM13】
②補助事業の営業利益計画は・・・ 1 年後:0.1 億 2 年後:0.17億 3 年後:0.25 億	
③地域への波及効果(雇用等)は・・・ IT 技術導入により採用面に好影響を与える	